



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月24日

上場取引所 東

上場会社名 鉦研工業株式会社  
コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日

(氏名) 末永 幸紘  
(氏名) 三輪 美之

TEL 03-6907-7888

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,455	3.2	60	△82.2	78	△77.1	69	△78.4
28年3月期第2四半期	3,347	△14.1	342	13.0	343	18.1	320	31.6

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 72百万円 (△76.8%) 28年3月期第2四半期 314百万円 (30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	7.73	—
28年3月期第2四半期	35.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
29年3月期第2四半期	7,412		3,348	45.1			372.87	
28年3月期	7,381		3,347	45.3			372.76	

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 3,343百万円 28年3月期 3,342百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,150	2.8	690	△8.1	680	△8.0	530	△36.9	59.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P6「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	8,970,111 株	28年3月期	8,970,111 株
29年3月期2Q	3,396 株	28年3月期	3,396 株
29年3月期2Q	8,966,715 株	28年3月期2Q	8,966,861 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期連結決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結決算財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を始めとするアジア新興国・資源国等の経済減速や英国のEU離脱など、海外経済の不確実性の高まりによりわが国の景気を下振れさせるリスクが高まっており、不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境につきましては、公共投資は緩やかに減少しておりますが、企業収益の改善から民間設備投資は持ち直しの動きがみられております。

このような情勢の中、当社グループでは本年4月より開始した3ヶ年の「2016中期経営計画」により、新たな環境下でも「売上拡大と高収益の維持」を上位目標として、それを達成するための成長戦略を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の受注は、ボーリング機器関連では機械本体を中心に受注を確保し、工事施工関連でも大型の大口径立坑掘削工事を受注しましたが、予定していたほかの大型受注案件が年度後半にずれ込んだこともあり、受注高は前年同四半期に比べ減少いたしました。売上につきましては、ボーリング機器関連において当社の主力製品であるロータリー・パーカッションドリルやコントロール・ボーリングマシンなどの機械本体を中心に伸びたことにより、売上高全体では前年同四半期を上回りました。

以上の結果、連結受注高は、3,799百万円（前年同四半期増減率△8.3%）、連結売上高は、3,455百万円（同3.2%）となりました。利益面におきましては、売上高は増加しましたが、工事施工関連の完成工事高減少と原価率の悪化ならびに販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は60百万円（同△82.2%）、経常利益は78百万円（同△77.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円（同△78.4%）となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	当第2四半期 連結累計期間(A) 自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日	前第2四半期 連結累計期間(B) 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	3,799	4,145	△345	△8.3%
売上高	3,455	3,347	107	3.2%
営業利益	60	342	△281	△82.2
経常利益	78	343	△264	△77.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	69	320	△251	△78.4

（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

当セグメントにおきましては、国内では機械本体を中心に受注を確保し、海外でもODA水井戸案件を受注いたしました。予定していたほかの国内大型案件が年度後半にずれ込んだことにより、受注高は前年同四半期を下回りました。売上高は、主力製品であるロータリー・パーカッションドリルやコントロール・ボーリングマシンなどの機械本体の出荷が好調であったため、前年同四半期を上回ることができました。利益面では売上高の増加により、人件費及び研究開発費などの固定費増をカバーし、前年同四半期を上回るセグメント利益（営業利益）を計上いたしました。

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結累計期間(A) 自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日	前第2四半期 連結累計期間(B) 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	2,222	2,390	△167	△7.0%
売上高	2,240	1,913	326	17.1%
セグメント利益	156	68	87	128.0%

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

② 工事施工関連

当セグメントにおきましては、受注については得意工種の大口径立坑掘削工事、トンネル先進調査工事や温泉掘削工事の受注を確保しましたが、アンカー工事の受注低調と大型工事案件の年度後半への受注ずれ込みにより、受注高は前年同四半期を下回りました。売上高につきましても、国内の大型工事である長尺コントロール・ボーリング工事が期初に完工しましたが、全体では前年同四半期と比べると減少いたしました。利益につきましては、完工高の減少と原価率の悪化により、セグメント損失（営業損失）となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結累計期間(A) 自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日	前第2四半期 連結累計期間(B) 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	1,577	1,755	△178	△10.1%
売上高	1,214	1,434	△219	△15.3%
セグメント利益又は損失(△)	△95	273	△369	—

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して31百万円増加し、7,412百万円となりました。

流動資産は、完成工事未収入金が309百万円、現金及び預金が65百万円減少しましたが、仕掛品が265百万円、電子記録債権が126百万円、商品及び製品が60百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して31百万円増加し、5,726百万円となりました。

固定資産は、建物、工具器具及び備品などで55百万円の設備投資を行いました。48百万円の減価償却の実施により、前連結会計年度末と比較して軽微ながら増加し、1,686百万円となりました。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して30百万円増加し、4,064百万円となりました。

流動負債は、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が106百万円、工事未払金が33百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が147百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して3百万円増加し、2,971百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の資金調達により28百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して26百万円増加し、1,093百万円となりました。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益69百万円等を計上したことから、3,348百万円となり、自己資本比率は45.1%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、以下の記載のキャッシュ・フローにより、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し857百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、118百万円の収入（前年同四半期は247百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益の計上81百万円、売上債権の減少260百万円、仕入債務の増加114百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加353百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、16百万円の収入（前年同四半期は91百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、定期預金の純増減額42百万円であり、支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出19百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、158百万円の支出（前年同四半期は321百万円の支出）となりました。長期借入金は、150百万円の調達を行う一方、約定弁済により116百万円を返済いたしました。短期借入金は、371百万円の調達に対し、482百万円を返済し、ファイナンス・リース債務は8百万円を返済いたしました。また、配当金は71百万円の支払いを行いました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年4月27日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「受取手形及び売掛金」に含めていた「電子記録債権」は、重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「受取手形及び売掛金」に表示していた1,736,594千円は、「受取手形及び売掛金」1,681,494千円、「電子記録債権」55,100千円として組替えております。



3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	986,023	920,201
受取手形及び売掛金	1,681,494	1,677,318
完成工事未収入金	594,123	284,504
電子記録債権	55,100	181,653
商品及び製品	1,230,512	1,290,517
仕掛品	330,736	596,595
未成工事支出金	154,345	100,780
原材料及び貯蔵品	406,083	459,047
繰延税金資産	134,683	150,211
その他	123,792	68,678
貸倒引当金	△1,320	△2,620
流動資産合計	5,695,574	5,726,888
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	470,197	464,166
有形固定資産合計	1,549,763	1,543,732
無形固定資産	23,454	32,669
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,510	13,438
その他	150,037	133,279
貸倒引当金	△53,935	△37,093
投資その他の資産合計	112,612	109,623
固定資産合計	1,685,830	1,686,025
資産合計	7,381,405	7,412,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,492,323	1,640,013
工事未払金	88,189	54,766
短期借入金	618,854	507,000
1年内返済予定の長期借入金	218,352	223,304
未成工事受入金	29,396	24,246
未払法人税等	24,161	36,620
賞与引当金	160,968	164,608
その他	335,610	320,861
流動負債合計	2,967,855	2,971,419
固定負債		
長期借入金	315,445	344,397
役員退職慰労引当金	85,522	86,138
退職給付に係る負債	458,021	465,917
資産除去債務	11,541	11,613
その他	195,857	185,057
固定負債合計	1,066,387	1,093,123
負債合計	4,034,242	4,064,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	5	5
利益剰余金	2,035,543	2,033,164
自己株式	△1,504	△1,504
株主資本合計	3,199,459	3,197,081
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	187,108	187,108
退職給付に係る調整累計額	△44,132	△40,780
その他の包括利益累計額合計	142,975	146,327
非支配株主持分	4,727	4,963
純資産合計	3,347,162	3,348,371
負債純資産合計	7,381,405	7,412,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,347,468	3,455,049
売上原価	2,327,370	2,633,825
売上総利益	1,020,098	821,224
販売費及び一般管理費	677,891	760,471
営業利益	342,206	60,752
営業外収益		
受取利息	308	31
受取配当金	90	1
貸倒引当金戻入額	3,908	1,345
為替差益	1,061	—
受取保険金	3,745	21,428
その他	10,110	7,240
営業外収益合計	19,224	30,047
営業外費用		
支払利息	16,656	10,884
支払手数料	420	192
為替差損	—	723
その他	912	221
営業外費用合計	17,989	12,021
経常利益	343,441	78,777
特別利益		
固定資産売却益	2,561	2,953
特別利益合計	2,561	2,953
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	49	—
固定資産売却損	—	334
固定資産除却損	62	228
特別損失合計	111	562
税金等調整前四半期純利益	345,892	81,169
法人税、住民税及び事業税	25,029	24,034
法人税等調整額	△19	△12,455
法人税等合計	25,010	11,578
四半期純利益	320,881	69,590
非支配株主に帰属する四半期純利益	449	235
親会社株主に帰属する四半期純利益	320,432	69,355

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	320,881	69,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△887	—
退職給付に係る調整額	△5,161	3,352
その他の包括利益合計	△6,048	3,352
四半期包括利益	314,833	72,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,383	72,707
非支配株主に係る四半期包括利益	449	235

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	345,892	81,169
減価償却費	55,886	48,590
有形及び無形固定資産除却損	62	228
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,305	△15,541
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,172	3,640
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,225	11,248
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	270	616
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△17,113	800
受取利息及び受取配当金	△399	△32
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	7,000
支払利息	16,656	10,884
為替差損益(△は益)	△117	370
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△2,561	△2,619
売上債権の増減額(△は増加)	631,204	260,506
未成工事受入金の増減額(△は減少)	4,824	△5,149
前受金の増減額(△は減少)	38,119	37,293
たな卸資産の増減額(△は増加)	△571,923	△353,164
仕入債務の増減額(△は減少)	△92,839	114,266
前渡金の増減額(△は増加)	△7,239	10,873
未払費用の増減額(△は減少)	33,680	△58,463
その他	△98,597	△7,339
小計	317,444	145,176
利息及び配当金の受取額	406	38
利息の支払額	△15,901	△10,709
役員退職慰労金の支払額	△700	—
法人税等の支払額	△53,747	△19,236
法人税等の還付額	—	3,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	247,502	118,694
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△11,928	42,655
有形及び無形固定資産の取得による支出	△75,369	△19,247
有形及び無形固定資産の売却による収入	5,818	3,038
その他	△10,300	△9,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,780	16,798

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	342,000	371,000
短期借入金の返済による支出	△679,894	△482,854
長期借入れによる収入	200,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△136,947	△116,096
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,342	△8,553
自己株式の取得による支出	△129	—
配当金の支払額	△38,163	△71,786
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321,477	△158,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	117	△370
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△165,638	△23,167
現金及び現金同等物の期首残高	957,845	880,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	792,207	857,292

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,913,389	1,434,078	3,347,468	—	3,347,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,980	—	2,980	△2,980	—
計	1,916,370	1,434,078	3,350,448	△2,980	3,347,468
セグメント利益	68,481	273,737	342,219	△13	342,206

(注) 1. セグメント利益の調整額△13千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,240,598	1,214,451	3,455,049	—	3,455,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,242	400	7,642	△7,642	—
計	2,247,841	1,214,851	3,462,692	△7,642	3,455,049
セグメント利益又は損失 (△)	156,172	△95,980	60,191	560	60,752

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額560千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。